

デザイン思考マスター・クラス



日本で唯一

30年以上続くイノベーション・プロセスの研究蓄積を土台に、体系的にイノベーションの方法論：デザイン思考を学べる日本で唯一のマスター・クラス

正統派の学び

スタンフォード大学を始めとする海外の知見を日本に紹介し、デザイン思考のトレーニングに特化してきた組織による正統派のワークショップ

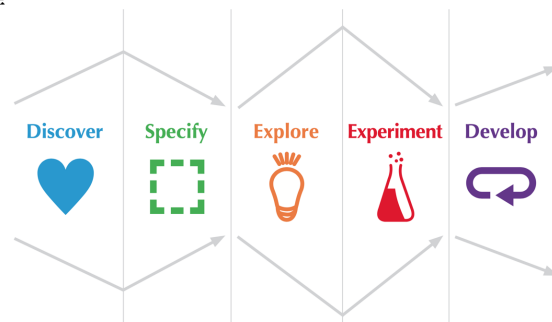
実践志向

屋外でのフィールドワークや社内でのデザイン思考を展開するための導入ガイダンスワークなど、常に実践で成果を出すことに焦点を当てた内容を展開

獲得できると知識とスキル

この講座はデザイン思考のマインドセット・プロセス全体・ツールセットをカバーしています。参加者は、共感的な方法で新しい市場機会を探索しながら、プロトタイプ作成/テスト、ストーリーの構築と実験を通じて、顧客/ユーザーのニーズを理解！¹ キョ

- 人間中心デザイン
- 顧客理解のための観察技法
- プロトタイプ開発と改善
- ニーズ特定法
- 洞察を得るためのインタビュー技法
- アイデア創造技法
- 顧客ストーリーの創造



この講座が重要な理由：なぜデザイン思考なのか？

◆デザイン思考の重要性

デザイン思考のビジネスに活用は、日本のみならず、アメリカ、ドイツ、中国等様々な国で活用されています。例えば、デザイン思考の発想を活かして事業展開をするApple、コカ・コーラ、IBM、ナイキ、P&Gなどのリーディング・カンパニーは、S&P500の他企業と比べて10年間で2倍以上(211%)の成長を記録しています。また、米国以外にも英国、フランス、ドイツ、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、日本の企業における意思決定者339人に行った調査によれば、戦略的なデザインの活用は顧客のロイヤリティを高め(50%)、他社との競争優位においても有効である(46%)と、それぞれの割合で報告がされています。

◆デザイン思考を体得する際の課題

しかしながら、デザイン思考の発想/プロセス/ツールを体得するには様々な課題があります。デザイン思考をチームや組織で実際に活用している人から、デザイン思考に対する次のような声が寄せられています。

「本で読んでわかったつもりだったが、実践して初めてわかったことの方が多い」

「何度も練習して上達するスポーツに近く、一度学んだだけでは身につかない」

このような声を踏まえ、実践的な形でデザイン思考の技術やスキルを習得できる講座を提供しています。より具体的には、クラス修了によって以下のことができるようになります。

- 人間中心の発想で仕事にとりくみ、従来とは異なる視点で成果を出せる
- デザイン思考を活用して顧客/ユーザーの課題に対して実行可能な解決策を開発する
- 観察やインタビュー調査で顧客/ユーザーへの共感を深め、満たされていないニーズを特定する
- 新しい価値創造のために、チームの創造性を高めるブレインストーミング技法を使用する
- 課題を解決するアイデアをプロトタイプ化し、低コスト低リスクで何度も実験する
- 解決策の実行可能性を高める顧客ストーリーを開発する

講座の特徴

1. 10年以上の専門教育/コンサルティングを行ってきた「デザイン思考研究所」が提供

デザイン思考マスタークラスは、スタンフォード式のデザイン思考が日本に紹介された2012年から提供を開始しています。10年以上にわたって定評のあるプログラムとなっており、毎年内容のブラッシュアップも重ねています。プログラムの効果・有用性は常に検証を行っており、その結果として受講生の9割以上が、過去受講者からの紹介や強い推薦でご参加されています。

2. 実践を目的とした体系的なプログラム

実践で成果を出すことに焦点をあてた内容ですので、3日間を通じて理論の解説のみならず実際に手や体を動かしながら学ぶワークショップ形式になっています。本で学習したり、他の研修に参加したが実践でデザイン思考を活用できていないという方も、本クラスに参加すると「ようやく腹落ちした」「明日からすぐに使えそう」という声をいただいています。

3. ラーニング・アシスタント (LA) のサポート

参加者はグループに別れ、各グループには過去のマスタークラス修了生がラーニング・アシスタントとして付き、実際のグループワークを見ながらアドバイスやフィードバックを行い、デザイン思考の原則を効果的に適用できるようサポートします。

4. 志を持ち、高めあえる仲間と出会う

マスタークラスはデザイン思考の知識とスキル習得に加え、お互いを高め合いながら成長できる仲間と出会う絶好の機会です。講義中は少人数のグループに分かれ、多様なバックグラウンドをもった他の受講者と一緒にプロジェクト形式で学びます。グループで学び合う刺激に加え、受講後にグループメンバーでオフ会が行われるなど、社外ネットワーク構築の機会にもなっています。

5. 修了証の発行と利用

全期間のすべての講義とワークに参加した方で、希望者にはデザイン思考研究所/アイリーニ・マネジメント・スクールから電子修了書 (PDF) が授与されます。LinkedInや名刺上で、「デザイン思考研究所マスター・クラス修了」と記載可能です。

講座の対象者

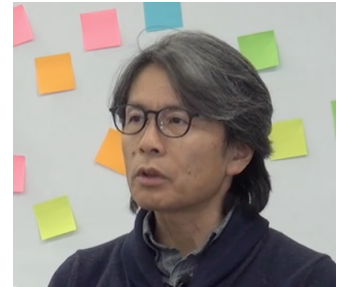
このクラスは、顧客/ユーザーの満たされていないニーズを明らかにしながら、複雑で不確実なビジネス環境で成果を出したい実務家や専門家に適しています。

- 人間中心のマインドセットで顧客/ユーザーに寄り添いながら製品やサービス開発を行いたい、企業内起業家、プロダクト・マネージャー、UI/UXデザイナー
- 顧客が必要とするソリューション提供のため、ニーズ理解を深めたいマーケティング担当者
- 教育やソーシャルセクターなどで働く専門家、優れた顧客体験を創造する方法を学びたい方
- 新しいビジネスを生み出したいデジタル・ビジネスのリーダー・マネージャー
- インパクトのある新しい組織や新しい事業を生み出したいと考えている起業家/起業予定者
- デザイン思考のコンサルティングやアドバイスを行うフリーランスや企業所属の専門家

過去の受講生の声

コニカミノルタ株式会社 情報機器開発本部 丸地 典利

新しい価値創造の実現：「製品開発部門に所属しているが、他社とのスペック競争やコストダウンに明け暮れ、本来の企業理念である『新しい価値の創造』が日々の業務の中で達成できていないという課題がありました。そのような中で、デザイン思考ワークショップを体験し衝撃を受け、デザイン思考マスター・クラスを受講しました。デザイン思考を理解した人間で組織化されたプロジェクトチームを結成することで、共通の認識を持つことができ、うまくプロセスを回すことができるようになりました。難しいながらも、価値提案の楽しさを感じることで、小さな課題だけではなく、社会的な課題を含めて解決していくためのアイデアを日々考えることができるようになり、それが事業性の高いアイデアになりつつあります」



オリンパス株式会社 モバイルシステム本部 画像技術部 松下 朗

ロジカルと感情の融合：「今までは『製品の性能を上げるにはどうすればいいか』という考え方で良かったですが、現在は『お客様のバックグラウンドや製品への期待』ということをしっかり理解しないと機能開発ができなくなり、今の性能を上げるだけではなく新たな変化が必要になるのではないかと課題に直面するようになりました。その課題を解決するために、会社としてもデザイン思考への取り組みをはじめ、社員が大学の講義を含む様々な機関でデザイン思考を学ぶようになりました。アイリーニ・マネジメント・スクールのマスター・クラスでは、「具体的にどうすればいいか」ということを体験型で学ぶことが一番良かったです。また、デザイン思考が身に付くだけでなく、短時間でチームワークを作る方法、チームビルディングの具体的な方法を学ぶことができました。初対面の人がいきなりチームを組んで、4つ〜5つくらいの新しいものを共に作り上げていくということに対し「凄いな」と感じました。マスター・クラスを通し、まずは人を分析的に見ていき、具体的に相手が望んでいることを出していき、そしてそれを形にして試すということの雛形を持つことができました。社内でも、マスター・クラスに参加した社員が比較的デザイン思考を日常的に使用している傾向があります。ユーザーにとっていいことをロジカルに展開したい、ロジカルと感情をミックスして納得のできる展開をしたいと考えている方におすすめです。」



専門家による推薦の声：プログラム品質

アイリーニ・デザイン思考研究所は、オンライン学習とインタラクティブな講師・参加者同士とのやりとりを通じて、強いモチベーションを持った実務家や専門家を対象とした、大学院レベルの高度かつ実践的な学習環境を提供しています。

このクラスは、2012年からデザイン思考トレーニングに特化して体系的なプログラムを提供してきたデザイン思考研究所が提供しています。これまでデザイン思考研究所が提供してきたプログラムには、日本を代表する日経225企業はもちろん、国立大学から地方自治体まで、累計5,000名以上の参加者が学んできました。

学習者の中にはプログラムの内容を活かして、300万人以上の顧客を対象とする新製品を1年でリリースした上場企業(BtoC)の製品開発責任者もいれば、新サービス提供をこれまでの2倍の速さでリリースすることで納期とコストを大幅に削減した中小企業(BtoB)経営者もいます。

◆推薦者の声

スタンフォード大学d.school講師/カリキュラム開発責任者 トーマス・ボス(Thomas Both)



“Kashino-sensei and the Eirene team truly care about the learning and success of their students.

I've witnessed the attention they put into developing the high-quality curriculum and experience of their courses.

They also actively invest into their own learning, gathering the leading ideas from the field, which adds to the depth of their knowledge”.

Program Director (U.S.) Japan Biodesign, Stanford Byers Center for Biodesign,

スタンフォード大学, 池野 文昭



「私がデザイン思考について知ったのは、スタンフォード大学医学部に留学してしばらくしてからでした。スタンフォード大学には、バイオデザインというデザイン思考のアプローチを応用した医療機器の起業家育成講座があります。そのコースを社会人学生として学びましたが、その本家とも言えるデザイン思考を学びたくなり、アイリーニ・デザイン思考研究所のコースを受講しました。正直、ここでの体験が非常にデザイン思考、そして、バイオデザインを理解するのに役立ったというのが本音です。そして、スタンフォードに戻り本場のd.schoolでいろいろ学ぶ

ときに理解が早まり、今の自分の考え方の基盤になっております。是非、受講することをお勧めします」

KDDI株式会社 商品・CS統括本部 商品企画本部 プロダクト企画部長 大井 龍太郎



「デザイン思考を実際の商品企画に取り入れるために、アイリーニ・マネジメント・スクールのデザイン思考研修への参加、講演などを通じて、デザイン思考への理解を深めてきました。従来にない視点やラピッドプロトタイピングによる探索での確度の向上など、これまでの我々の商品企画とは全く違ったアプローチでしたが、ユーザ視点に立った理論的なものであり、実践においても

でも役立つものでした。これからもデザイン思考の理解をさらに深め、積極的に取り入れていきたいと考えています」

東京工業大学 実践型アントレプレナー人材育成プログラム (PEECs) 担当教員



「本学の大学院プログラムにおいて、アイリーニ・マネジメント・スクールより講義スライドや資料の提供、カリキュラム作成支援サポートを受けております。担当教員が実践的かつ効率的に授業が展開できるだけでなく、履修学生の理解度も非常に高く、教員・学生の両者とも非常に満足しております」

◆ **プログラム開発責任者**

アイリーニ・マネジメント・スクール, デザイン思考研究所, 柏野尊徳



ケンブリッジ大学ジャッジ・ビジネス・スクールにてイノベーション・戦略・組織理論の修士号取得。慶應義塾大学総合政策学部入学後、スタンフォード大学d.schoolにて、イノベーションの方法論デザイン思考を学ぶ。関連教材や動画を開発してWeb上で無料公開。累計ダウンロード数は16万部超え。専門領域はイノベーションと企業家精神。ケンブリッジ大学修士課程修了。3回の起業と15回の新規事業創造を経験。100~1000万円単位の少額エンジェル投資10数件3件。2013年にデザイン思考所、2018年にアイリーニ・マネジメント・スクールを設立。スタンフォード大学講師との共同トレーニングコース提供や、新事業/製品/サービス開発のコンサルティング、関連企業研修を実施。支援先は富士フイルム、パナソニック、日立製作所など。

スケジュール



◆ マスタークラスの全体像

- オンライン版は3日間 / 対面版は4日間でデザイン思考を実践する上で重要な考え方やプロセス、様々なツールを学びます。
- まず、デザイン思考を90分でスピーディーに体験した後、デザイン思考の全体像や、考えの土台となる「人間中心の考え方」について学びます。
- その後、1つのテーマについてデザインを実践します。講義で体系的に学ぶと同時に、グループワークで実践を行います。
- 1つのグループは3-4人で構成され、各グループに専属のラーニングアシスタント*が付きます。これにより、適宜アドバイスやフィードバックを受けながら理解と実践を重ねることができます。（*現在もデザイン思考を現場で活用している過去のデザイン思考マスタークラス修了生）

現在もデザイン思考を現場で活用している過去のデザイン思考マスタークラス修了生)

◆ 対面：4日間のカリキュラム

- 全日：9:30 - 17:00（初日と最終日のみ、17:00-18:00でレセプション/懇親会：参加任意）

1日目	2日目	3日目	4日目
午前 ・ようこそ！ ・90分デザイン思考 ・イノベーション理論 ・デザイン思考の特徴	午前 ・フィールドワーク	午前 ・テーマ設定法 ・アイデア創造 ・コンセプトマップ ・アイデア選択	午前 ・ストーリーテリング ・ストーリーボード ・マガジンモックアップ ・ショートビデオ
昼食			
午後 ・ユーザー理解の手法 ・観察練習 ・インタビューの構築 ・フィールドワーク	午後 ・発見の共有 ・インサイトの導出 ・着眼点の導出 ・着眼点レビュー	午後 ・プロトタイピング ・反復テスト ・フィードバック獲得 ・コンセプトの洗練	午後 ・最終発表 ・模擬ファシリテーション ・フィードバック ・全体の振り返り
レセプション			懇親会

講師

アイリーニ・マネジメント・スクール講師 山田 泰穂 (Hiroe Yamada)



大学院修了後、ホテル・レストランマネジメント会社に入社。ホテルやレストランのスタッフ・マネジメントとして現場を経験したのち、本社経営戦略室にてマーケティング担当。その後、コンサルティング室にて多数の外資系ホテルや5つ星ホテル、国内上場企業、ベンチャー企業までをクライアントに組織文化形成、タレント開発コンサルタント、経営幹部経営者コーチングを経験。現在は社長室にて新規事業開発。2021年国内新規事業の立ち上げメンバー、2023年海外新規事業立ち上げリード。広島カープとロジャー・フェデラーが大好き。

アイリーニ・マネジメント・スクール講師 飯盛 豊 (Yutaka Iimori)



東京工業大学リーダーシップ教育院システムxデザイン思考 非常勤講師
東京農業大学グローバルフードシステム非常勤講師

長年外資IT業界で経験を積み1999年米国シリコンバレーにて、インターネットスタートアップ（現・Google）創業に参画。外資系広告会社を経て、現在に至る。専門は、イノベーション教育、デジタル人材育成、新規事業創出支援。現在、大学院にて、持続可能な開発のための「ライフサイクル思考、システム思考、デザイン思考を組み合わせたサステナビリティ設計手法」を研究。

プログラム開催概要とお申し込み

概要	デザイン思考の知識とスキルを徹底的に学び、現場で継続的に実践できるようになる
実施時間	オンライン：09:30 - 17:00（初日16:30-17:00にオンライン懇親会：参加認知） 対面：9:30 - 17:00（初日と最終日の17:00-18:00はレセプション/懇親会：参加任意）
定員	24名（最少開催人数に満たない場合は開催中止となります）
参加費	オンライン：165,000円（税込） 対面：198,000円（税込） ※授業料、学習教材費、アシスタント費用、レセプション/懇親会費用を含む ※同一企業から3名以上受講の場合、参加費が10%割引となります
支払方法	銀行振込

受講前の準備事項

- 参加費の入金確認後に事前課題やフィールドワークに関するご連絡を差し上げます。

お申し込みの流れ

1. お申し込み：フォームに必要事項を入力の上、送信ください。
 - a. <https://ems.eireneuniversity.org/design-thinking-masterclass-apply/>
2. ご連絡：お申し込みの確認が出来次第、お振込先情報等をメールにてご案内いたします。
3. ご入金：メール記載の期日までにご入金をお願いいたします。
4. 事前準備：詳細は事務局よりご入金確認後にご案内いたします。
 - a. オンライン：ZoomやMiroのアカウント登録をお願いします
 - b. 対面：フィールドワーク実施のための簡単な準備をお願いします。
5. ご参加：
 - a. オンライン：時間になりましたらZoomにご入室ください。
 - b. 対面：時間までに会場にお越し下さい
6. 注意事項・キャンセルポリシー：
 - a. https://docs.google.com/document/d/198kHm0-0V_9GsNBMk-wsh9G8bW2joT0x69Iu_aqNBSY/edit?usp=sharing

◆連絡先：アイリーニ・マネジメント・スクール事務局

ems@eireneuniversity.org / <https://ems.eireneuniversity.org/>